

## 三三通信

深秋の候、皆様には食欲旺盛にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

去る8月30・31日に、第64会大会が駒澤大学で開催され、盛会のうちに終了いたしました。以下、30日の総会で報告あるいは審議された事柄の中から、いくつかの点についてお知らせします。

### 1. 会則第4条の改訂

主な変更点は次の2点です。

#### 1) 正会員の入会資格が次のようになりました。

##### 第4条

2 正会員の入会資格は次の通りとする。

- (1) 四年制以上の大学で心理学およびその隣接分野を専攻した者。
- (2) 第1号に準じる者。

#### 2) 学生会員の制度ができました。

##### 第4条

5 学生会員は、四年制以上の大学で心理学およびその隣接分野を専攻している4年次以上の学部在籍中の学生とする。

学生会員である者が、正会員として入会を希望する場合は改めて入会の申請を必要とする。

学生会員は、正会員の連名者として本学会大会の発表者となることができる。

学生会員は正会員と同様に機関誌、ニュースレター等の配布、会務連絡を受けることができるが、応用心理学研究掲載諸報告の連名者となることはできない。

また、本会の業務に関する選挙権、被選挙権を有しない。

学生会員の会費は、正会員の2分の1とする。

詳細は次号「応用心理学研究23号」に掲載します。

この改訂は平成9年8月30日から発効します。

### 2. 第1回学会賞・奨励賞

本年度の学会賞と奨励賞に深沢氏と所氏がそれぞれ選ばれ、表彰状が贈られました。

深沢伸幸氏. 1977年 慶応義塾大学大学院社会学研究科修士課程修了。

1997年博士(心理学)。現在鉄道総合技術研究所主任研究員。自動車事故の原因を心理的認知機能のゆがみに関連させた研究が高く評価されました。

所正文氏. 1957年6月生。1983年早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。1994年 博士(文学)。現在国士舘大学政経学部助教授。中高年齢者の運転適性に関する研究が高く評価されました。

### 3. 名誉会員の推薦

推薦された方は次の通りです。(アルファベット順)

長谷川孫一郎先生 中村昭之先生 西岡昭先生 鬼沢忠先生  
諸先生にはこれまでの応用心理学会へのご貢献に深く感謝いたします。  
また、これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 4. 公開シンポジウムの開催

亜細亜大学教授馬場房子先生の企画により、平成9年度公開シンポジウムが行われます。詳しくは、同封の「案内」をご覧ください。多数の方のご参加をお待ちしております。

### 5. 「応用心理学研究 22号」発行

「応用心理学研究 22号」が出来上り、9月初旬に会員の皆様に発送しました。次号は12月刊行の予定です。今年度から年2号の発行となります。奮って投稿してください。原稿は随時受け付けています・

### 6. 来年度、再来年度大会開催校決定

平成10年度(第65回)大会は京都の龍谷大学で、平成11年度(第66回)大会は埼玉県川越市の東京国際大学で開催されることになりました。第65回大会の日程は10月中には決定する予定です。

## 事務局より

1. 認定「応用心理士」事務局発行のニュースレターを同封しましたのでご覧ください。
2. 今年度会費未納の方は納入をお願いいたします。なお、年会費は6000円です。住所を書かれるときにお名前もお忘れなく。
3. 住所変更、あるいは勤務先変更等がありましたら、必ず、事務局までお知らせください。はがき、FAXのほか、会費納入のときに使われる振替用紙の通信欄を利用されるのも一つの方法です。